



Japanese Association of Homecare for Pressure Ulcers and Wounds

日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会 2013年度 四国地区 床ずれセミナー

理事長 大浦 武彦（褥瘡・創傷治癒研究所 所長）
全国会長 切手 俊弘（寺岡整形外科病院 内科医長）
地区会長 下元 佳子（生き生きサポートセンターうえるば高知 代表）

「無理をしない・させない 床ずれケア」

< ご挨拶 >

床ずれはそのメカニズムが徐々に解明されてきており、床ずれの発生頻度は減少傾向にあります。治らない時代から治る時代へ進化し、今では出来ないように予防する時代となりました。

一方、寝たきりの高齢者は増加傾向にあり、その寝たきり状態で自宅で生活を送る方も少なくありません。床ずれがない方は出来ないように、床ずれがある方は悪化しないように、ケアが必要となります。しかし在宅での仕事は床ずれケアだけでは終わりません。食事、介助や清拭、排泄介助など 365 日休むことを出来ないのが現状です。

そのような過酷な在宅での床ずれケアに一番大切なことは、無理をしないことだと考えています。それは利用者を無理させないこと、家族を無理させないこと、われわれ医療者も無理をしないことです。24 時間、365 日の看護・介護には継続が必要です。無理をすると継続できません。決して手を抜くではありません。無理がないと「こころのゆとり」が生まれます。そしてときに楽しさがあらわれてきます。たいへんな在宅ケアですが、きっとそこから生まれる楽しさに「やりがい」を感じられるのかもしれません。

日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会では、なんでも話せる身近なセミナーを心がけて開催しています。日々頑張っている在宅ケアの皆様、同じ思いの仲間がこのセミナーには集まってきます。ぜひ、お近くの会場で会いましょう。そして一緒に在宅の床ずれケアを盛り上げていこうではありませんか。

2013 年度全国会長 切手 俊弘

【日時】：2013 年 12 月 22 日（日）10:00～16:00（受付開始 9:30～）

【定員】：150 名

【対象者】：医師、看護師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、薬剤師、介護福祉士、
医療・介護施設スタッフ、訪問看護師、介護支援専門員、ホームヘルパー、
福祉用具専門相談員、一般、学生他

【参加費】：会員 1,000 円 / 非会員 3,000 円 / 学生 1,000 円

【会場】：高知医療センター くろしおホール

（〒781-8555 高知県高知市池 2125 番地 1）

プログラム（予定）

- 9:30 受付・企業展示開始
- 10:00-10:05 開会の辞 地区会長 下元佳子
- 10:05-11:00 講演1 「褥瘡治療から予防へ」
演者：広島国際大学 総合リハビリテーション学部 教授 茂木定之
- 11:00-12:00 講演2 「褥瘡治療のむかしと今」
演者：高知赤十字病院 形成外科部長 中川 宏治
- 12:00-13:00 昼休憩・企業展示
- 13:00-16:00 シンポジウム「地域みんなで褥瘡0を目指して！！」
～創らない！持ち込まない！持ち帰らない！ 連携を結果につなげるために～
高知赤十字病院 形成外科部長 中川 宏治
かもだの診療所 院長 市川 英明
高知医療センター 皮膚・排泄ケア認定看護師 片岡 薫
高知大学医学部附属病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 岡本 節
居宅介護支援事業所長瀬 介護支援専門員 神明 泰子
佐川町社会福祉協議会 サービス提供責任者 介護福祉士 山本 君子
訪問看護ステーションおたすけまん 理学療法士 西川 まり子
訪問看護ステーションおたすけまん 看護師 林 佳永
高知県立ふくし交流プラザ 常設展示場 相談員
生き生きサポートセンターうえるば高知 宮坂 千種
高知県社会福祉協議会 研修センター 鈴木 香
理事 茂木 定之
- 16:00 閉会の辞

※本セミナーは、日本褥瘡学会認定講習会です。

※詳細は予告なく変更されることがございますので、適宜協会ホームページでご確認いただくことをお勧め致します。

※協会ホームページ URL: <http://www.zaitaku-jokusou.info/>



【事務局】 日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会 事務局

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12 新宿ラムダックスビル 9階

株式会社 春恒社 学会事務部内 TEL:03-5291-6231 FAX:03-5291-2176

